

2023年夏渡航







授業が楽しく、先生もホームステイ先の人も
優しかったです！英語を喋れるようになりたい
という気持ちが大きくなりました。

工学部 応用化学科 1年 水野 未結さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： ☒ 可 ・ 不可

派遣先： ハワイ・UHM

行って損することはないと思います。行く前はちゃんとやっていけるのかなと不安が大きかったのですが、行ってみたら意外とどうにかになります。不安になる必要はあまりないです。ハワイのプログラムは授業が午後から始まることが多いので、時間もうまく使えば、自分の時間が沢山とれるのでストレスを感じることも多くはないと思います。

授業はクラスによってかなり違うように感じます。私のクラスはゲームなどで単語を覚えたり、説明したりして英語力を身につけました。ゲームをたくさんしたということもあり、すぐにクラスの人とも仲良くなることができました。実際喋るというのは難しいことで、自分から積極的にいくことが大事だと感じました。リスニング力は少しはつくと思います。個人的にインターチェンジが一番刺激的でした。英語を聞き取ることが必死でした。これは必然的にしゃべらなければいけないためスピーキング力はこれで鍛えられると思います。

ホームステイ先の人も優しい方でした。レストランに連れて行ってくれたり、コストコに行ったりしました。わからないことがあればホームステイ先に人に聞いたらいいいと思います。私のホームステイ先は夕食と一緒に食べるスタイルだったので、英語の勉強にもなりました。これがホームステイの強みだと思います。ホームステイと聞いて不安になる人も多いと思うのですが、合わないと思ったらすぐに変更すればいいと思います。無理にストレスをためる必要はないです！

再度言いますが、行ってよかったなと思うことばかりです。「英語を喋れる人はカッコいいな」「喋れるようになりたい」という気持ちが強くなりました。まずは自分でもっと英語を勉強しようと思います。



帰ってからも話したい、そんなプログラムでした

工学部 E学科 2年 櫻庭 駿介さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： ☒ 可 ・ ☐ 不可

派遣先： ハワイ大学マノア校

なぜ行きたかったか

私は今回の語学研修が初海外でした。本当はもっと長期のプログラムに参加したかったのですが、日程的に厳しかったので行ける中で1番長期のプログラムを選択しました。自分の中で強制的に英語しか話せない環境に置くことが英語力向上の鍵だと考えていたので3週間はちょうど良い期間でした。

滞在期間中の出来事

私の滞在期間中の行動は主に3つです。朝バスに乗って大学に通い、昼に授業を受けて、夕方バスの時間まで帰り道の途中にあるショッピングセンターで買い物をして楽しみました。私はホームステイ先が学校からバスで1時間半かかるところにあつたので平日朝は早く起き、夕方はほとんど遊べない日々でした。授業自体は昼からで英語レベルで12クラスくらいに分けられ1クラス20人弱で生徒は全員日本人でした。週に2回現地の学生と決まった話題について一時間くらい話すinterchangeがあり、色々な人と話すことができました。毎週金曜日は学校を出てクラスごとに校外散策を楽しみました。私はダウンタウンに行きハワイの歴史的な建物を見たり、ショッピングセンターに行って店員と話してみたりしました。

行ってみて

ハワイは観光名所ということもあり、日本人がとても多かったです。そのため英語と日本語を使う割合が半々くらいだったので初めて海外を経験するにはちょうど良かったと思います。帰ってきて英会話への抵抗がなくなりモチベーションがめちゃくちゃ上がったので在学期間中に英会話講座で会話力を磨き、卒業までにもう一度海外に行きたいと思いました。



英語でのプレゼンテーションやハワイ大学の学生との会話によって自信をつけることができました。

工学部 電気工学科 1年 坂本 海翔さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： ☒ 可 ・ 不可 派遣先： アメリカ ハワイ大学マノア校

高校生時代から英語に興味があった私は、ずっと留学をしてみたいとぼんやり考えていました。しかし高校時代の私は短期留学という手段を知らず、留学といえば長期留学と決めつけていました。そのため、大学に入ってから短期留学というものを知り迷わずに参加を決めました。留学先にハワイを選んだ理由は楽しそうだからという安直な理由でしたが、後から考えてみると治安も本土より良く、アジア人に対する偏見も少ない場所なのでベストな判断だったと思います。

滞在期間中は午前中は自由で午後は授業というスケジュールでした。なので午前のうちにビーチに行ったり昼食を食べたりしていました。授業は、留学初日にインタビューで決められたクラスでの授業だったので、自分と同じくらいの英語力の人と会話することができました。当然英語の授業中はもちろん、休み時間中もクラスメイトと英語で会話するのでリスニングとスピーキング能力が飛躍的に向上しました。また土曜日は、希望者はカカアマーケットプレイスと真珠湾に行き、ハワイの文化や歴史を学びました。

最後に、自分も留学前は当然友達ができるか、ホストファミリーと上手くコミュニケーションを取れるか等で不安に思っていたのですが、これらは完全に杞憂で、実際には授業のグループディスカッションや金曜日の授業中の課外活動で必ず友達はできますし、自分のホストファミリーはゆっくりと英語を話してくれたので英語を理解するのにあまり困りませんでした。そしてハワイは行って必ず後悔しないほど景色もご飯も素晴らしい場所なので、参加するかどうか迷っている人は何かを不安に思う前に参加のフォームを記入することをお勧めします。

ネイティブの英語を体験する経験を経て、自身が越えるべき課題が明確になりました



工学部 情報通信工学科 2年 志村 朋厚さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： ☒ 可 ・ ☐ 不可

派遣先： ハワイ UHM

将来的に海外で働く選択肢への布石として、この短期留学プログラムに参加しました。

とはいえ、なんら具体的な考えはなく、「向こうに行けば英語が上達するだろう」「授業で必要な力も伸びるだろう」程度に考えていました。

実際、文章も十分理解できたし大学内での英会話はゆっくり話されるよう配慮されていて、問題なく会話が成立しました。

しかし、自身の英語力などお構いなしに高速で話す、通常の相手となると話が変わってきます。教科書にできるような会話がわかる程度のリスニング力では、状況に即した相手の発言など大まかな意味しか捉えられないのです。当然、そのような状態で当意即妙な英文など浮かぶはずもなく、YesだのOKだの簡単な言葉で対応せざるを得ません。

つまり、リスニング力がなければ何をするにも中途半端な理解となってしまうのです。

このように、自分が英語で出来ることとできないことが剥き出しにされることになります。

一方で、ハワイや海外に行っても、普通に勉強して過ごしている限り、実力が急に伸びるなどということはないのだと思います。日本での授業と大して変わらず、少しずつ積み重なるだけです。英会話なんて、知ってる単語や表現しか使えません。実際のところは、せいぜい返事の仕方が上手くなるくらいでしょう。それでは、海外に何をしに行くべきか。出来ることを使ってもそれは上達ではないし、勇気を出してまで出来ないことを知ることになる中で、一朝一夕では身につかない英語力を高めに行くこの旅での目標。私の答えは「自身の課題を明確にしに行くこと」です。

勉強して実力を上げることも大事ですが、それらは日本でも出来ます。しかし、実際に何のスキルが必要かということは海外でしか確認できません。

長いようで短い数週間の最初の目的意識は、そこから始めてはいかがでしょうか。



普段から英語を積極的に使うことで英語力が身に付き、英語を話す抵抗感をなくすことができました！

デザイン工学部 デザイン工学科 2年
大貫 智也さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： ☒ 可 ・ 不可

派遣先： ハワイ UHM

日本の普通の英語学習では、リスニングとリーディングを主にやっておりスピーキングはほとんどやっていなかったため、英語を話す機会が欲しいと思い、このプログラムに参加しようと決めました。ハワイUHMは3週間のプログラムで、初めて海外へ行く私にとってはちょうどよい長さでした。また、ハワイは比較的安全な場所であるため、安心して英語を勉強できる環境であるということも選んだ理由の一つです。

授業は、月曜日から木曜日は大学内で12:30から16:20までの約4時間、金曜日は校外学習を行いました。授業内容は、英語の記事を読み要約してクラスメイトとディスカッションをしたり、英語でプレゼンをする練習、キャンパス内にいる在校生にインタビューをするなどでした。また、週に2回在校生と交流する機会があり、そこでは日本との文化や意識の違いを知ることができ、自分の知識をより深めることができました。そして、このプログラムでは英語の勉強だけでなく、ハワイ語の勉強やフラダンスのワークショップなどを通して、ハワイの文化や歴史にも触れることができました。

この3週間で私が一番良かったと思うことは、英語を話すことへの抵抗感がなくなったことです。語学研修に参加する前までは、外を歩いているときに英語で話しかけられてもまさか自分に話しかけているとは思わなかったり、うまく伝わらないかと思って避けてしまうことが多かったです。しかし、この研修でとりあえず英語で話すということがどれほど大切なのかを身をもって実感することができました。自分の英語の発音が完璧でなくても相手は聞き取ってくれたので、自分の英語に自信を持てるようになりました。この経験から、私はこれからも英語を話す機会を手に入れたいと考えようになり、ゆくゆくはセメスター留学にも挑戦してみたいと思っています。



異国での生活が自分の自信につながり、
英語学習のモチベーションがとても高まりました。

工学部 情報通信工学科 2年 篠原光輝さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： ☒ 可 ・ 不可

派遣先： アメリカ UHM

自分はこれまでの英語学習で、リスニングやリーディングしかやっておらず、英語学習においてモチベーションが低くなっていました。大学での勉強も大変で、あまり英語学習の時間も取れずにいたので、時間のある夏休みに語学研修に行こうと決めました。セメスター留学にも興味があったので、その足掛かりにもなればいいな、と思っていました。

滞在期間中は、平日の授業は午後4時間英語の授業をしました。内容は出題されたテーマに沿って自分の意見を書き、グループで共有して話し合いました。他にも、週に2、3回ほど現地の学生と会話をする時間があり、英語で話したり聞いたりする勉強をしつつ、現地の人の生活や文化、考え方などいろいろなことを知ることができました。ものすごく集中して先生が話していることを聞かなければいけなかったのも、リスニングに関してはとても力がついたように感じました。

プログラムは3週間と短期間でしたが、とても内容が濃く、充実した3週間を過ごすことができました。自分は初めての海外だったので、不安もとてもありましたが、英語学習のみならず、人間として成長でき、行く前より自分に自信を持つことができるようになったので、とてもいい経験ができたと感じています。もともと長期の留学に興味があったので、今の英語学習のモチベーションを生かして英語の勉強に励み、いずれは長期の留学に行こうと考えています。



英語の授業だけでなく、多くの人と関わることで視野が広がりました！

建築学部建築学科 2年 大谷 華さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： ☒ 可 ・ 不可

派遣先： ハワイ UHM

大学4年間の間に1回は海外留学をしたいと思っており、対面での語学研修が復活したため参加を申し込みました。始めは英語の授業についていけるか、友達がちゃんとできるか、ホストファミリーと仲良くできるかなど様々な不安がありました。また、芝浦から同じプログラムに参加している子たちとも初めて会ってから2回目くらいだったので仲良くなれるか不安のまま授業の初日を迎えました。

しかし実際参加してみると、オリエンテーションの時に簡単な面接を行い全部で5段階にクラス分けがされ自分の英語のレベルに沿った授業を受けることができました。また同じクラスには他の日本の大学からの留学生が集まっており、日本に帰国してからも連絡を取るほど仲良くなることができました。授業は月曜から木曜まで4時間をキャンパスの教室で受け、毎週金曜日はOff Campus Tourといってクラスの先生が学校外でのアクティビティを行ってくれました。私のクラスはアラモアナセンターでグループを組みワークシートを埋めるアクティビティをやりましたが、ほかのクラスはハイキングに行っているところもありました。土曜日はOptional Tourで市場のようなマーケットなどに行きました。日曜日はホストファミリーや友達と遊んで楽しい休日を過ごすことができました。

少し気を付けることとしては、ホストファミリーによって生活のルールがあったり、家の場所によってはバスの本数が少ないところもあることです。ですが、ホストファミリーや友達に聞くととても親切に答えてくれるのでたくさんコミュニケーションを取ることが大事だと思います。

3週間という短い期間でしたが、英語力だけでなく自分から積極的に取り組む力も増やすことができました。大学内にはたくさんの国の学生がいて挑戦次第では交友関係をグローバルにできるのもっと視野が広がると思います。最初はつらいこともたくさんありましたが楽しんで留学を終えることができました。また違う国のプログラムにも参加したいです。



初の海外渡航で緊張することばかりでしたが、ホストファミリー優しく、あっという間の3週間でした！

工学部 応用化学科 2年 星野 風香さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： ☒ 可 ・ ☐ 不可

派遣先： アメリカ ハワイ・UHM

日本にいと日頃は英語を使う機会がほとんどないため、日本を離れて海外で集中的に学びたいと考えていました。今回参加したプログラムはハワイ・UHMの3週間の語学研修プログラムでした。このプログラムを選んだ理由は、現地での滞在方法がホームステイであるからと、観光地としてとても有名なため治安が悪くないからです。私にとって今回が初めての海外渡航ということもあり、治安の良さは重要視していました。

現地での滞在はホームステイで、授業はたいてい午後4時からでした。同じプログラムには他大学の生徒も多く参加しており、クラスは同じくらいの英語力の人でまとめられています。授業中は休憩時間であっても英語のみで会話するように言われましたが、クラスメイトも自分と同程度の英語力なので緊張することなく英語で会話を続けられました。3週間のプログラムで毎週2回 UHMの学生と会話をする機会があり、決められたテーマに沿って質問をしていったり、お互いのことを話したりと有意義な時間を過ごせます。私はこの時間に現地学生のおすすめのスポットを聞き、週末に訪れたりもしました。また、1、2週目の金曜日は各クラスの先生が決める、キャンパス外でのアクティビティがあり、ハワイについても英語と一緒に学べます。土曜日にもプログラムでのアクティビティがあり、現地学生が案内として一緒にしてくれます。

今回のプログラムを通して自身の英会話の能力があがったり、日本人以外の友人とのつながりができたりと大きなものを得られました。また、他大学のクラスメイトや同じ芝浦の学生とも、学年や学科を越えて仲良くなることができました。渡航前は長いと思っていた3週間でしたが、英語の勉強に友達と遊んだり観光したりと、あっという間の充実した3週間を過ごすことができました。



英語に関しても、他のことに関してもモチベーションが高まりました！

建築学部 建築学科 1年 奥山 綾乃さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：可・不可

派遣先：ハワイ・UHM

大学入学前から留学に興味があり、大学のグローバルビジョンワークショップで語学研修についての説明を受け、参加を決めました。

このプログラムは授業が午後だけにあり、午前中は自由に使えるスケジュールでした。授業については、登校初日のスピーキングテストでレベル分けされたクラスで受けました。クラスによって授業内容が異なりますが、私のクラスではハワイの文化を沢山学び、プレゼンテーションやディスカッションをすることが多かったです。クラスメイトは全員日本人でしたが、授業中や休み時間も英語で話すことが多く、語学力が伸びたと感じます。金曜日はオフキャンパスのアクティビティがあり、私のクラスは、ワイキキビーチで銅像を見てハワイの歴史を学んだあと、公園でアメフトをしたり、大学近くの、ハワイの伝統食材であるタロイモ畑の整備をしたりしました。週に2回ほど、インターチェンジという、現地の人と1時間話す授業がありました。それはとても英語力を向上させるのに役立ちます。最終週にはフラダンスの授業があり、楽しかったです。宿題もクラスによって異なりますが、私の場合は毎日ルーズリーフ10行分のライティングが宿題として出されていました。大体1時間くらいで終わる内容でした。

午前中の自由時間はカフェに行って宿題をしたり、友達とご飯を食べに行ったり、ビーチに行ったりしました。12:30から授業が始まるため、遠くに行くには早起きをしないといけませんが、朝ダイヤモンドヘッドを上ったり、郊外のきれいな海に行っている人もいました。授業は16:20に終わり、放課後はショッピングモールによく行っていました。アウラニのディズニーも1度放課後に行きました。家に帰ってからはホストシスターとブラザーと遊んでいました。

休日は、友達とファーマーズマーケットやショッピングモール、ビーチ、パールハーバーなどいろいろなところに行きました。

この語学研修では語学力も向上し、たくさん観光もでき、また日本に帰ってから英語の勉強をするモチベーションや、他の大学から来たクラスメイトからも沢山の刺激を受けて、英語以外のことについても頑張るモチベーションができました。